東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関より提供を受けて下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部　臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 Ph 陽性急性リンパ性白血病の微小残存病変の動態と治療予後の関係

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、Ph 陽性急性リンパ性白血病の予後に関わるリスク因子を同定することを目的とした共同研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

２００３年１月１日　から　２０２０年８月３１日　までの間に、Ph 陽性急性リンパ性白血病に対して当院で造血幹細胞移植治療を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日　から　２０２０年１２月３１日　まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報等：診断名、年齢、性別、診断時の白血球数、診断時の染色体分析(G-band 検査)や PCR 検査結果、移植ドナー、移植前処置、移植後合併症の有無、移植後維持療法の有無。

・移植治療後の全生存率、無病生存率、再発率。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院　（電話：代表 0463-93-1121　内線：２２３１）

研究責任者　　血液腫瘍内科学　　鬼塚　真仁

問い合わせ担当者　血液腫瘍内科学　　原　隆二郎

Ver.170817